

## 教育委員会臨時会日程

平成26年7月31日

1 開 会

2 会議録署名委員の決定

3 協議事項

(1) 平成27年度使用小学校教科用図書の採択に向けての協議について

(資料1 教育指導課)

4 その他

5 閉 会

## 平成27年度使用教科用図書

### 小田原市教科用図書採択検討部会の意見

平成26年7月16日（水） 13:30～ 実施

平成26年7月16日（水）に実施した小田原市教科用図書採択検討部会において、科目ごとに検討部員から次のような意見がありました。

#### 国語

- 子供達が正しい日本語を話せるような教科書を選んで欲しい。
- 国語の学ぶ基礎が入っているものがよい。別冊になっている教科書があるが、他の教材にも応用が利くよい点もあるが、使い方に工夫が必要である。光村図書は、小田原地区で長年使用しているのもので、慣れ親しんでいる良さがある。他社の教科書にも子どもの視点を大切にしているよさを感じた。
- 子供達が、この教科書で何を学ぶのかがわかる。保護者にも教材のねらいがわかる教科書のよさを感じた。

#### 書写

- 国語と書写の連携、連動がというお話があったとおり、国語と書写は同一の出版社である方が望ましい学習の形になるのではないかと。

#### 社会

- 社会の指導をする際は、資料がたくさんでてくる。グラフや表等、子供に読み取らせる比較させる指導をしていくので、教科書に資料番号が入っている方が指導しやすい。1つ判断材料になるのではないかと。

#### 地図

- 地図帳は、教科書に出てきた地名、調べ学習をする際の確認の際に使用するもので、見やすいという点が大事になってくる。両社とも見やすい地図なので、いいと思う。
- 地図は、寸法のわかりやすさが大切だと考える。

#### 算数

- 新しい単元に入る最初は、振り返りをきっかけに、新しい学習内容に進める場合が多い。学習に入る前にレディネス問題があると、子供の思考を助ける。
- 以前勉強した単元が何ページにあるという記述も大切。ノート指導の記述があるものは非常によい。高学年になるとデジタルコンテンツを利用できるという教科書がよいと感じた。
- 算数は、個人差が大きいと感じる。問題が多い方が少ない方がよいというわけではないが、じっくりと問題を解く子もいれば、どんどん先へ進んでいく子もいるので、発展的な問題があるとよい。また、デジタルコンテンツが無料で使えるとありがたい。

## 理科

- 算数のデジタル教材と同様に、植物の成長等が視覚的にデジタルコンテンツを使用して学習した方が教育的によいのではないか。
- 教科書をいきなり広げるよりは、実験や観察をした後に確認をする際に使う。写真、グラフ、表が大きく載っている教科書が見やすい。そういうものがたくさん入っている教科書がよい。
- 他教科との関わりが大事なので、他の教科との関わりを考えて選んでいただきたい。
- 理科の教科書を使用するのに、写真やグラフで確認することは大切。家庭学習に使用するために別冊がついている教科書があるが、活用によってはよいが、家庭学習は、発展的なものなので、児童の活用度はどうなのか。

## 音楽

- 学習指導要領に書かれている言語活動の充実が、どちらの教科書もワークシートに書き込みができるというので、学習指導要領にのっとった指導ができると感じた。

## 図画工作

- 開隆堂は、目次に学習に必要なものが載っていて、日文は単元毎のページの下に学習に必要なものが載っているが、実際に授業をしていると単元毎に掲載されている方がわかりやすい。
- 活動している写真がある方がわかりやすく、技法がのっている方が、児童が自分もやってみたいという意欲がわく。
- 教科書の中の作品や、どういう活動をしているかという写真を参考にしていくことが多いので、それができているということが必要になるのではないか。

## 家庭科

- 実際に指導する際、教科書だけで終わらせずに、生活にどのように結びつけていくのかを考えて指導していた。自分たちの生活を振り返る、自分たちの生活に活かせるという工夫がされていることは大切である。
- 両社とも振り返りながら、使用できる教科書でとても使いやすと感じた。
- 社会科との連動ができればいい。

## 保健

- 基本的な子供の体力以外にも、ストレス等の発展教材をとりあげ、そのことを小学校のうちから学ぶことは重要。

## 生活

- 入学すぐに勉強することを考えると、イラスト、写真を中心に見やすくつくられているのが、子供達にとって大切なことである。
- 時系列で学ぶことは、子供達が見通しをもつのによい反面、学校、地域にあわせた場合に教科書通りに学習がいけないと子供が混乱してしまうという危惧も考えられる。
- 他の教科でも教科書に入っていたが、防災・防犯面について、低学年から学習していくことが大切ではないかと感じた。

平成27年度使用教科用図書 教科別 教科書会社一覽

	東京書籍	大日本図書	開隆堂出版	学校図書	三省堂	教育出版	信州教育	教育芸術社	光村図書	帝国書院	啓林館	日本文教	文教社	光文書院	学研教育	出版社数	点数
国語	10			12	12	12			10							5	56
書写	6			6	6	6			6			6				6	36
社会	6					6			4			6				4	22
地図	1									1						2	2
算数	11	6		10		9					9	11				6	56
理科	4	4		4		4	4				8					6	28
音楽						6		6								2	12
図工												6				2	12
家庭	1															2	2
保健	2	2											2	2	2	5	10
生活	2	2		2		2	2		2		3	2				8	17
種目数	9	4	2	5	2	7	2	1	4	1	3	5	1	1	1	48	253

